



昭和小 第18号

校長室便り
文責
生田 文明

ようこそ地域の先輩



二十二日、JAやつしろ選果場利用組合女性部の山住さん・古嶋さん・堀田さん・鶴山さん・岩崎さん・上村さんをお迎えし、五・六年生児童対象に、地域の特産品（はちべえトマト）の栽培法、トマトを使った調理の実習、食の大切さについての出前授業をしていただきました。

まず、昭和で栽培された新鮮な「はちべえトマト」を使つてのオリジナル料理教室を開催していただきました。トマトの栄養と旨みを最大限に生かした「シチュー」「スパゲ



ッテイ」「カルパッチョ」「トマトごはん」のレシピを教わり、調理・試食し、地元特産品のよさを味わうことができました。

次に、トマト栽培についての紙芝居を用い説明していただきました。種まき、苗づくり、そして定植、収穫、我が子のように日々の生長を見守り、育てていらつしやるのがよく分かりました。

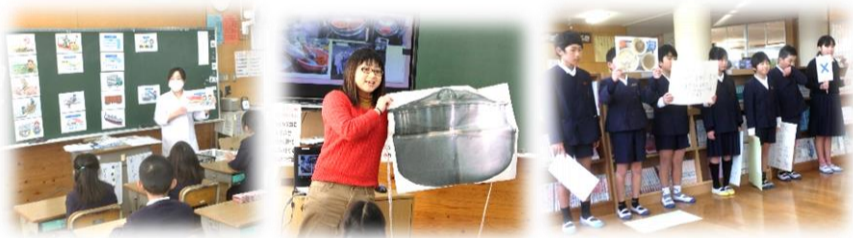
昭和の特産品であるトマト、トマトに寄せる昭和の先輩方の思い、食材としてのトマトの素晴らしさ、これらのことを、先輩方へのお礼として、今後、機会あることに、家族や自分の周りの方々へ、伝えていってほしいと思います。

給食週間の取組



二十四日～三十日まで、全国学校給食週間です。本校でも、給食に感謝、食べ物に感謝等、食に関する関心を深めるために、①ようこそ地域の先輩（前述）、②給食センターの先生による出前授業、③学校給食に関する作品づくり、④給食時の放送時間の活用（給食記念日など）⑤健康安全委員会の活動、⑥給食センターの先生へのお礼の手紙などを実施しているところです。

②の出前授業では、一・二年生は、「きゅう食たんけんたいくきゅう食がとどくまで」



と題して、給食の献立作成から、食材の調達、運搬、給食センターでの調理の様子、そして、学校までの配送について、順番に話していただきました。また、三・四年生は、「食べ物が届くまで」と題して、各食材がどのように栽培、採取、飼育され、どのような経路を経て、私たちの食卓まで届けられるのかを話していただきました。命ある一つ一つの食材には、その食材に関わった多くの方々の思いが込められていることを学び、食材やそれに携わった方々へ感謝して食べることの大切さにあらためて気づかされたようです。

郡築小との交流

七中校区小中一貫・連携教育の一環として、十八日に、郡築小四年生と本校三・四年生との交流会を行いました。

全体でのあいさつの後、六つの班に分かれ、班ごとに自己紹介、その後、トランプゲームを行い、交流を深めました。

三年生から郡築小の同級生等との交流会を毎年行うことで、共に進歩する七中での不安を少しでも解消することを目的とする本交流会。三年後、四年後の姿を垣間見ることができました。

